

〈校訓〉

感動

〈教育目標〉

志をしなやかに育む生徒



R8 学校だより

絆 きずな

清水町立清水中学校

駿東郡清水町堂庭 267 番地

TEL055-975-1073

FAX055-975-1334

『志をしなやかに育む生徒』を育成します

西昇降口の桜が、先週の風雨をこらえ、清水中生556人の入学と進級を祝っています。

7日(火)午前中には着任式や始業式、そして午後には入学式を執り行い令和8年度をスタートしました。

私は、4月1日清水中学校に赴任しました武藤剛と申します。清水南小、清水西小、清水小で教頭や校長として多くの子ども達と関わってきました。中学校での成長した姿をみることができるととても嬉しく思います。よろしく願い申し上げます。

本校では本年度も、学校教育目標に「志をしなやかに育む生徒」を掲げました。この目標には、予測困難なこれからの時代を生き抜くために、子どもたちに最も授けたい「心のあり方」が込められています。新年度にあたり、この言葉に込めた私の願いと、本校の教育方針についてお伝えいたします。

「夢」を、社会とつながる「志」へ

私たちはよく子どもたちに「将来の夢は何ですか?」と問いかけます。夢を持つことは、自分を突き動かす大きな原動力になります。しかし、本校が大切にしたいのは、その一歩先にある「志」です。

◇ 夢とは:「〇〇になりたい」という自分自身の憧れや願い。

◇ 志とは:「〇〇という力を通じて、社会や人の役に立ちたい」という目的意識。

自分の得意なことや好きなことが、どうすれば誰かの笑顔につながるのか。夢を「志」へと昇華させることで、子どもたちの学びには「使命感」という強固な土台が生まれます。

変化の激しい時代に必要な「しなやかさ」
志は、一度決めたら曲げてはいけない強固な棒のようなものではありません。むしろ、風に吹かれても折れない「竹」のような「しなやかさ」

こそが重要です。

これからの社会では、予期せぬ困難や失敗、価値観の変化に直面することが多々あります。その際、ポキリと心が折れてしまうのではなく、「別の方法を試してみよう」「今の経験を次に活かそう」と柔軟に立ち直る力(レジリエンス)を育てたいと考えています。

「頑固」ではなく「柔軟」に。自分をアップデートし続けながら、目的を見失わずに進む力。それこそが、本校の目指す「しなやかさ」です。

「内面との対話」を評価の軸に

「志が育っているか」という成長は、ペーパーテストの点数や通知表の数値だけで測ることはできません。なぜなら、志は他人のためであると同時に、自分自身の内面と向き合うことでしか深まらないものだからです。

◇ 今の自分は、精一杯取り組んでいるか。

◇ 失敗したとき、自分をどう立て直そうとしているだろうか。

こうした「自己対話」の習慣こそが、自律した大人への第一歩です。学校現場では、結果のみを称賛するのではなく、そのプロセスにおける生徒の葛藤や挑戦、心の動きを丁寧に見つめ、認めていく教育を実践してまいります。

結びに

保護者の皆様におかれましては、お子様が家で失敗して落ち込んでいるときや、進路に悩んでいるとき、ぜひ「どうになりたいか(夢)」だけでなく「どうありたいか(志)」と一緒に語り合っていたいただければ幸いです。

教職員一同、お子様一人ひとりの「志の芽」がしなやかに、力強く伸びていくよう、全力を尽くしてまいります。本年度も、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

(文責 校長 武藤 剛)

○ 令和8年度 着任式・始業式・生徒会任命式

4月7日より、令和8年度の教育活動がスタートしました。2・3年生は午前中に登校し、着任式・始業式・生徒会任命式を行い、新しい年度の第一歩を踏み出しました。久しぶりに登校した生徒たちの表情からは、新学年への期待と決意が感じられ、校内には活気が戻ってきました。3月には16名の教職員が本校を離れ、4月になって、新たに19名の教職員が赴任し、本校の一員となりました。新しい風を受けながら、教職員一同、気持ちを新たに教育活動に取り組んでまいります。

始業式では、校長の式辞に続き、生徒代表が新年度の抱負を発表しました。自分が1年後にどのような姿でありたいかを具体的に思い描き、その実現に向けて日々努力していく決意が述べられました。その言葉からは、自ら考え行動しようとする前向きな姿勢が感じられ、全校生徒にとってよい刺激となりました。生徒会任命式では、生徒会本部役員および専門委員長が任命書を受け取りました。一人一人が学校をよりよくしていこうという自覚と責任を胸に、引き締まった表情で式に臨んでいました。

新しい年度の始まりにあたり、生徒一人一人が目標を持ち、仲間とともに切磋琢磨しながら充実した学校生活を送ることを期待しています。教職員一同も、生徒の成長を支えるため、日々の教育活動に全力で取り組んでまいります。



○ 令和8年度入学式

4月7日の午後、令和8年度入学式を挙行了しました。受付が始まり新入生が校舎に入ると、明るい声が響きわたり学校全体が華やいたように感じられました。教室には2・3年生が午前中と前日を使って準備してくれた黒板の飾りつけや机上の教科書があり、新入生は目を輝かせて見ていました。入学式では、教室での笑顔から一転して引き締まった表情で参加していました。緊張とともに中学生になったという意識が身も心も引き締めていたように思います。すばらしかったのは呼名の時の返事で、ほとんどの生徒が気持ちの良いはっきりとした返事をする事ができていました。197名の新入生を迎えることで、本校の全校生徒数は556名となります。一人ひとりが自分らしさを発揮して新しい清水中学校を作ってほしいと願います。

○ 第1回授業参観を開催します。 4月20日(月)

4月20日に、今年度最初の授業参観を実施いたします。新しい学年、新しい学級、そして新しい担任のもとでスタートしたばかりのこの時期は、生徒にとっても保護者の皆様にとっても、不安や疑問に感じる人が多いことと思います。当日は、学級担任による授業を公開いたします。授業の様子を通して、担任の人柄や指導の工夫、また学級の雰囲気や生徒たちの様子をご覧いただければ幸いです。また、授業参観後には学年・学級懇談会を予定しております。担任より学級経営の方針や学年の取り組みについて説明するとともに、保護者の皆様と直接お話していただける貴重な機会となります。ご多用のところとは存じますが、ぜひご参加いただき、日頃感じておられることやご心配な点などをお聞かせください。なお、5月に予定しております宿泊行事に関する連絡やご相談がある場合には、この機会にぜひお伝えいただければと思います。安全で充実した行事となるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。